

校長便り 怒濤 高

県立糸満高校

平成29年2月27日(月)
校長 辻上 弘子
第 20 号

安心してください 糸高 DNA は受け継がれますから

明日予行演習、そして卒業式。下級生に後を託して 3年生は新たな船出です。

「いいかい、10年後に勝負しよう」と言いたい

とうとうキミは糸満高校を後にするのだね。卒業してしまうのか。毎朝定刻には教室へ行き、先生方に挨拶をし授業を受けた。朝練をする人もいたね。お弁当を買う時に、出会うと必ず笑顔で挨拶をくれたね。放課後も体育館でわたくしの姿を見つけるが早いか、もう手に椅子を持って現れたね、その光の様な迅速さには驚いたよ。練習試合が一段落ついた時に、ネットの向こう側から、いつものように全員ですらっと並んで、声を揃えて「校長先生こんにちは」と挨拶をくれたね。「校長先生、いつも素敵ですね」と校舎の周りを走りながら軽口をたたいていくキミ、こんなお世辞も言えるなんてまるで大人だよ。でも、ふふと喜んだけれどね。テスト前の教室では、キミが先生役で5~6人が英単語のスペルを超スピードで書いていたね。皆 凄い集中力だった。キミが、晴れて卒業という舞台に立てる背景に何が存在するのか、ご両親をはじめ数多くの方々の有形無形のご支援と激励、そして厳しくも暖かい指導。忘れてはいけないよ。はっきりと形に見えない事柄が、実感を持ってわかるキミだから、感謝の気持ちを言葉や態度に表すことが得意だろう。3年間の高校生活で作りに上げてきたチーム糸満の絆の中で、高い知識と教養、豊かな人間関係、自主性、他人を思いやる心、逞しい心と体を自分のものとしたキミは、これからさらに自らを鍛え、上昇し、一段、そしてまた一段と、上のステージへと世界を広げていくのだ。実に羨ましい。キミの進む道には、成功 という名の石が、足下にごろごろと転がっている。時には、それに躓きながらも、果敢に 挑戦してくれたまえ。いいかい、10年後、勝負しよう。